

■ なんでも相談窓口実施後の対応について

受付日 令和3年2月19日(金)

相談場所 面会室

相談受付者 浅川 眞里子

記録 藤原 律子

相談者 U 氏(女性)

希望内容

- ・毎日楽しいし、ご飯も美味しい。
- ・だんだん年を取っていくので、将来は他の施設に行きたい。
- ・買物に行きたい。

処理結果

・将来は一人部屋がある「グループホームきらら」に行きたいとのことでした。現在の生活には不満もなく楽しく生活できていますが、4人部屋なので気を使ってしまうとのこと。都度、本人からの訴え等を傾聴し、安心した生活ができるよう引き続き支援します。

・買物については、コロナ感染が落ち着きつつあるので、今月27日に実施する予定になっていることを再度伝えました。

■ なんでも相談窓口実施後の対応について

受付日 令和3年2月19日(金)

相談場所 施設長室

相談受付者 後藤 洋貴

記録 宮川 晶子

相談者 U 氏（男性）

希望内容

- ・入れ歯を作ってほしい。

処理結果

・この要望について、本人と話をしました。理由としては、「食べ物が噛み切れなくて、未消化便が出ている。」とのことでした。今後、歯科受診をし、義歯作成をすることで納得されました。

■ なんでも相談窓口実施後の対応について

受付日 令和3年2月19日（金）

相談場所 面会室

相談受付者 浅川 眞里子

記録 藤原 律子

相談者 G 氏（女性）

苦情内容

- ・利用者Kさんとうまくいっていない。

希望内容

- ・息子から、「孫ができたなら一泊で遊びに来てよ。」と言われている。

処理結果

・同室のK氏とは、お互い気が強いため以前より些細な衝突は見られます。この件に対しての気持ちを伺ったところ、「K氏が自分のために言ってくれていることも分かっているし、嫌ではない。」とのことでした。また、「K氏ときちんと話をして謝りたい。」とのことで、職員同席のもと実施し和解されました。今後も、他者との関わりについて十分様子観察しながら、ご本人からの訴えを傾聴し、落ち着いた生活を送れるよう支援をします。

・外出・外泊希望については、コロナ感染が落ち着き次第、息子さんと連絡調整を行い可能であれば実施できるよう対応します。

■ なんでも相談窓口実施後の対応について

受付日 令和3年2月19日(金)

相談場所 施設長室

相談受付者 後藤 洋貴

記録 宮川 晶子

相談者 S 氏(男性)

希望内容

・退所して、野菜加工工場で働きたい。

処理結果

・入所に至った経緯を伝えただけで、今後どのような目標を立てて取り組んでいくべきかを一緒に考え、一歩ずつ前進できるよう支援します。今後は、居宅生活訓練や就労訓練も視野に入れていきたいと考えています。

■ なんでも相談窓口実施後の対応について

受付日 令和3年2月19日(金)

相談場所 面会室

相談受付者 浅川 眞里子

記録 藤原 律子

相談者 M 氏(女性)

苦情内容

- ・他の利用者から、「どけ、向こうに行け。」と言われたり、皮膚疾患部分を見て、「どうしたのか。」などと聞かれて嫌な思いがする。
- ・食事の量が多く、職員から「残さないように」と言われる。飲水を少なくしていることが辛い。

希望内容

- ・久しぶりに買い物へ行けて良かった。また行きたい。

処理結果

- ・今後も引き続き本人からの訴えや相談には日頃から傾聴し、改善策やアドバイスなどを都度行い、ストレスの軽減に努めます。

・現在、体重が減少傾向にあり高カロリー栄養補助食品を摂取していただいています。無理強いはありませんが、できるだけ完食を目指すようにとの声掛けをしています。また、多飲水で血中ナトリウムが低い状態で、水分制限が必要なのですが、本人の精神状態に配慮し自由に飲水できる状態です。病識が乏しく、頻回に飲水している姿を見かけるので、都度控えるよう声掛けし様子観察をしているところです。

- ・外出することが気分転換になるとのことなので、今後も支援していきます。

■ なんでも相談窓口実施後の対応について

受付日 令和3年2月19日(金)

相談場所 施設長室

相談受付者 後藤 洋貴

記録 宮川 晶子

相談者 A 氏(男性)

希望内容

- ・西都に帰りたい。
- ・建設業で働きたい。
- ・部屋替えを希望したい。

処理結果

- ・入所に至った経緯を伝え、まずは生活習慣の見直しや作業・活動等への取り組みで、身体能力の向上を図ることが大切であることを話しました。本人も納得され、まずはここ(すみよし)で頑張って生活しますとのことでしたので、自立を視野に入れての支援をしていきます。
- ・何に対しても長続きせず、逃げ出してしまう面があるため目標を持ち、ひとつの作業を根気強く続けられるよう支援します。
- ・同室者が遅くまで起きていることが気になるが、それで眠れないということではないので大丈夫とのことでした。引き続き様子観察をし、ストレスとならないような環境作りを心掛けます。

■ なんでも相談窓口実施後の対応について

受付日 令和3年2月19日(金)

相談場所 面会室

相談受付者 浅川 眞里子

記録 藤原 律子

相談者 O 氏(女性)

希望内容

- ・外泊がしたい。

処理結果

- ・外泊については、コロナ感染が落ち着いてから娘さんへ伝えてみる予定です。現在、週3回娘さんや親戚の方に電話をかけたり、ハガキのやり取りを毎回楽しみにされていますので、引き続き支援します。また、面会が一部解除になったことをご本人へ伝えました。

■ なんでも相談窓口実施後の対応について

受付日 令和3年2月19日(金)

相談場所 施設長室

相談受付者 後藤 洋貴

記録 宮川 晶子

相談者 Y 氏(男性)

希望内容

- ・熊本に帰りたい。

- ・施設をいつ頃出られるのか。

処理結果

・熊本に生活基盤を置くことは困難であることを理解しているようですが、母親と電話で話をすると帰郷したい気持ちが高まってしまうとのことでした。

・入所された理由を改めてご本人へ伝えました。入所当時（R2, 9月入所）に比べ、状態は良くなってきているため、引き続き生活訓練を継続しながら目標を持ち取り組めるよう支援します。

■ なんでも相談窓口実施後の対応について

受付日 令和3年2月19日（金）

相談場所 施設長室

相談受付者 後藤 洋貴

記録 宮川 晶子

相談者 N 氏（男性）

希望内容

- ・自宅に戻って、畜産等で働きたい。

処理結果

・施設内作業や就労訓練へは目標を持って取り組んでいましたが、昨年施設内での飲酒が続き、入院に至った経緯もあります。また入院中に糖尿病も発症し、今後は特に健康管理を考慮した支援が必要な状態です。病識に欠ける部分も多々ありますので、都度振り返りながら、まずは施設内自立に向けての支援を継続し、徐々に社会復帰を見据えた目標に切り替えられるよう支援します。